

# 9つの将来目標と主な施策

## 1 笑顔あふれる 健やかなまち

- (拡充) 地域密着型事業所整備事業 4,318万円【財源内訳 県支出金4,318万円】第6期介護保険事業計画に基づく認知症対応型共同生活介護事業所(認知症高齢者グループホーム)の施設整備への補助を実施。
- (継続) 誘致病院運営推進事業 1,090万円【財源内訳 市の負担1,090万円】平成28年4月に開設した座間総合病院の安定的な運営のため、国有財産貸付料として土地賃借料を計上。
- (継続) 市民体育館大規模修繕事業 858万円【財源内訳 市の負担858万円】施設の高齢化に対応するため、中央監視装置などの更新を実施。
- (継続) 災害時医療救護資機材整備事業 159万円【財源内訳 市の負担159万円】災害時における負傷者の応急的な医療救護のための医薬品などを確保。



在日米陸軍返還跡地に建設された座間総合病院

## 2 支え合い 思いやりに満ちた やすらぎのまち

- (新規) 地域少子化対策推進事業 44万円【財源内訳 市の負担44万円】結婚への機運の醸成や婚活におけるコミュニケーション能力向上など結婚に向けた活動を支援。
- (拡充) 社会福祉総務管理経費 2,585万円【財源内訳 繰入金2,500万円、市の負担85万円】相模が丘6-4多目的広場に隣接する公用地について、健康増進に配慮した設備などを含む広場の整備を実施。
- (拡充) 臨時福祉給付金等給付事業 5億1,802万円【財源内訳 国庫支出金5億1,802万円】低所得高齢者などの個人消費の下支えとなるよう拡充して臨時福祉給付金などを支給。
- (拡充) 民間保育所整備助成事業 5,638万円【財源内訳 国庫支出金4,770万円、県支出金181万円、市の負担687万円】待機児童対策および保育環境を整備するため、新たに整備する保育園などの施設整備の支援を実施。
- (継続) 生活困窮者自立支援事業 2,689万円【財源内訳 国庫支出金1,735万円、市の負担954万円】新たに「家計相談支援事業」を実施することし、生活困窮者の生計の安定に向けた支援の充実を図ります。
- (継続) 児童ホーム管理運営事業 1億4,047万円【財源内訳 分担金及び負担金65万円、使用料及び手数料4,059万円、国庫支出金1,483万円、県支出金1,483万円、市の負担6,957万円】待機児童対策として新たに立野坂児童ホームを開設。

## 3 共に考え 共に歩む 安心のまち

- (継続) 新消防庁舎建設事業 4億9,738万円【財源内訳 国庫支出金1億6,164万円、繰入金8,372万円、市債1億8,630万円、市の負担6,572万円】新消防庁舎建設工事および工事監理委託を実施。
- (継続) コミュニティセンター大規模修繕事業 7,266万円【財源内訳 市の負担7,266万円】新田宿・四ツ谷コミュニティセンターの改修工事を実施。
- (継続) 国際交流事業 257万円【財源内訳 繰入金105万円、市の負担152万円】姉妹都市中・高校生派遣交流事業研修を委託で実施。
- (継続) 戸籍住民基本台帳管理経費 6,687万円【財源内訳 使用料および手数料8万円、国庫支出金1,416万円、県支出金11万円、市の負担5,252万円】マイナンバーカード(個人番号カード)交付事務に伴い窓口機能を強化。
- (拡充) 消防水利整備事業 2,493万円【財源内訳 国庫支出金802万円、県支出金543万円、市の負担1,148万円】東原地区に耐震性貯水槽を新設し、栗原中央地区に消火栓を新設。
- (拡充) 消防団機材整備事業 934万円【財源内訳 県支出金272万円、市の負担662万円】切創防止手袋、防塵ゴーグルなどの安全装備品、タープ TENT、消防救急デジタル受令機などの災害用備品の整備を進めます。
- (拡充) ホームページ作成事業 810万円【財源内訳 諸収入60万円、市の負担750万円】スマートフォンに対応するため、ホームページの改修を実施。
- (新規) 地域防災計画改定事業 517万円【財源内訳 市の負担517万円】地域防災計画の改定を実施。
- (拡充) 消防活動事業 434万円【財源内訳 市の負担434万円】二焦点型可搬式投光器や発電機などの災害用備品の整備を進めます。
- (拡充) 地域防災力向上事業 345万円【財源内訳 県支出金60万円、市の負担285万円】子育て世代を対象にした防災シンポジウムを新規に開催。
- (拡充) 緊急消防援助隊運用事業 112万円【財源内訳 市の負担112万円】タープ TENT、胴長靴などの災害用備品の整備を進めます。
- (継続) 交通安全施設維持管理経費 1,244万円【財源内訳 市の負担1,244万円】既存の道路照明灯をLED道路照明灯へ一括交換し賃貸借契約することで、経費の節減を図ります。

## 4 のびやかに 豊かな心 はぐくむまち

- (継続) 小学校施設整備事業 5億8,081万円【財源内訳 国庫支出金4,486万円、市債3億8,530万円、市の負担1億5,065万円】外壁改修工事、屋上防水改修工事、屋上土留改修工事、便所改修工事などの実施。
- (拡充) 私立幼稚園就園奨励事業 2億2,212万円【財源内訳 国庫支出金5,408万円、市の負担1億6,804万円】子どもの多い低所得者世帯への支援策として、保育料の負担軽減を図る私立幼稚園設置事業者への補助を拡大。
- (拡充) 幼稚園子ども・子育て支援事業 1億7,713万円【財源内訳 国庫支出金4,520万円、県支出金6,452万円、市の負担6,741万円】

本市の目指すまちの姿「ともに織りなす 活力と個性 きらめくまち」の実現のため、「9つの将来目標」を立てて、より効率的で質の高い行政サービスの提供ができるよう、目標に沿って次の通り事業を展開していきます。

- 子どもの多い低所得者世帯への支援策として、幼稚園の月額保育料について、従来の年齢制限を撤廃するとともに、ひとり親などの低所得世帯の保育料について、補助額を拡大。
- (継続) 中学校給食(選択式)導入準備事業 3,549万円【財源内訳 市の負担3,549万円】平成27年9月から試行実施している(東・栗原中学校)の中学校給食(選択式)を通年で実施。
- (拡充) 特別支援教育事業 4,345万円【財源内訳 市の負担4,345万円】特別支援教育補助員および障がい児介助員を増員し、よりきめ細かい教育の推進を図ります。
- (拡充) 市民文化会館管理運営事業 2億7,956万円【財源内訳 使用料及び手数料3,088万円、市の負担2億4,868万円】休館日を原則、年末年始のみとし、利用者の利便性の向上を図ります。
- (新規) 放課後子ども教室推進事業 328万円【財源内訳 県支出金105万円、市の負担223万円】放課後などに小学校の余裕教室を活用し、子どもの安全・安心な居場所を設け、地域のさまざまな方々の参画を得て、子どもたちと共に学ぶ学習やスポーツ、文化活動などの取り組みを支援。
- (継続) 青少年センター耐震化事業 4,707万円【財源内訳 国庫支出金42万円、市の負担4,665万円】青少年センター多目的ホール耐震補強など工事の実施。
- (新規) 座間市民公民館大規模修繕事業 1,716万円【財源内訳 市の負担1,716万円】座間市民公民館の屋根など雨漏り改修工事の実施。

## 5 暮らし快適 魅力あるまち

- (継続) 小田急相模原駅前西部地区市街地再開発事業 2億5,223万円【財源内訳 国庫支出金1億1,880万円、市債1億690万円、市の負担2,653万円】建物補償、既存建物解体、施設建築物工事の着手。
- (継続) 芹沢公園整備事業 2億1,510万円【財源内訳 国庫支出金1億500万円、県支出金950万円、市債8,850万円、市の負担1,210万円】平成29年4月の全園開園に向け、活動拠点施設などの整備を実施。
- (新規) 緑化重点地区整備事業 2億4,373万円【財源内訳 国庫支出金1億2,172万円、市債1億550万円、市の負担1,651万円】こまつばら公園の用地取得を行うとともに、地域住民などとのワークショップを行いながら公園整備の設計業務を進めます。
- (継続) 北部地区総合交通対策事業 4,591万円【財源内訳 国庫支出金1,650万円、市債1,210万円、市の負担1,731万円】市道5号線改良工事に向けた用地の購入など。
- (継続) 南東部地区総合交通対策事業 2億2,120万円【財源内訳 国庫支出金2,695万円、市債1,980万円、市の負担1億7,445万円】市道38号線交差点改良および物件補償の実施。

## 6 きよらかな水 大切に守るまち

- (継続) 雨水対策事業 5,740万円【財源内訳 国庫支出金1,900万円、市債3,840万円】浸水被害の軽減のため、桜田排水区・目久尻川直接流入区の雨水整備事業を実施。
- (新規) ひばりが丘地区遊水池用地取得事業 7,500万円【財源内訳 市の負担7,500万円】財務省所管圃場跡地600平方メートルを取得し、雨水調整池として浸水被害の軽減を図ります。

## 7 地球にやさしい 活力あるまち

- (拡充) 資源物分別収集実施事業 1億7,362万円【財源内訳 使用料および手数料2万円、市の負担1億7,360万円】「ごみ分別促進アプリ」を導入し、ごみ・資源物収集に関する情報発信を促進。
- (継続) 農業生産基盤整備事業 2,489万円【財源内訳 県支出金1,415万円、市の負担1,074万円】座間農業振興地域整備計画に基づく市道座間108号線および市道新田宿59号線の整備を実施。

## 8 未来志向 柔軟な発想 確かな行政経営

- (拡充) ファシリティアマネジメント推進事業 837万円【財源内訳 市の負担837万円】座間市公共施設再整備計画策定に向けた取り組みを進めます。
- (新規) 地方版総合戦略推進事業 64万円【財源内訳 市の負担64万円】平成27年度に策定した「座間市総合戦略」の推進および進捗管理の実施。
- (新規) シティプロモーション推進管理経費 19万円【財源内訳 市の負担19万円】従来からの地域資源に加え、新たな地域資源の発掘に努め、これらを市内外へ効果的に発信し、座間市の知名度や魅力を高め、更なるイメージアップを図ります。
- (新規) 固定資産税業務システムパッケージ開発事業 5,591万円【財源内訳 市の負担5,591万円】土地、家屋、償却資産に関する業務をホストコンピュータからシステムパッケージに移行。
- (継続) 行政評価システム推進事業 195万円【財源内訳 市の負担195万円】内部評価および外部有識者・まちづくりのための市民アンケート調査による外部評価の実施。
- (拡充) 市マスコットキャラクター「ざまりん」PR推進事業 709万円【財源内訳 市の負担709万円】新たに「ざまりん」のホームページを作成。



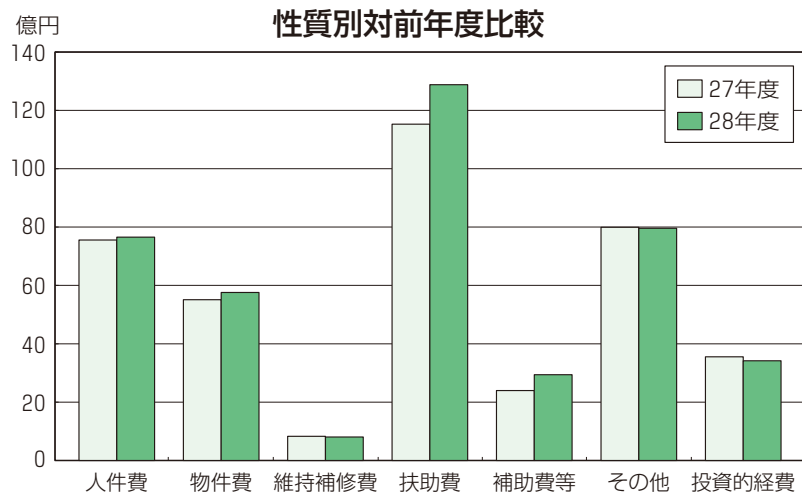
市外からも多くの人が訪れるひまわりまつり

## 9 市民起点 的確な判断と行動 信頼される行政運営

- 計画推進のために必要な事業を継続して行っていきます。

## 平成28年度会計別予算(▲はマイナス) (単位:千円)

| 区分          | 平成28年度     | 平成27年度     | 前年度予算との比較(伸び率)      |
|-------------|------------|------------|---------------------|
| 一般会計        | 41,414,501 | 39,366,148 | 2,048,353 ( 5.2%)   |
| 特別会計        |            |            |                     |
| 国民健康保険      | 16,303,352 | 16,900,041 | ▲596,689 (▲3.5%)    |
| 介護保険事業      | 7,807,248  | 7,255,962  | 551,286 ( 7.6%)     |
| 後期高齢者医療保険事業 | 1,332,081  | 1,250,856  | 81,225 ( 6.5%)      |
| 公共下水道事業     | 0          | 3,007,403  | ▲3,007,403 皆減       |
| 小計          | 25,442,681 | 28,414,262 | ▲2,971,581 (▲10.5%) |
| 水道事業        | 3,318,988  | 3,082,186  | 236,802 ( 7.7%)     |
| 公共下水道事業     | 4,567,611  | 0          | 4,567,611 皆増        |
| 小計          | 7,886,599  | 3,082,186  | 4,804,413 ( 155.9%) |
| 合計          | 74,743,781 | 70,862,596 | 3,881,185 ( 5.5%)   |



今年度は、保育環境の整備などのために扶助費が増えているよ！

扶助費は、高齢化対策や

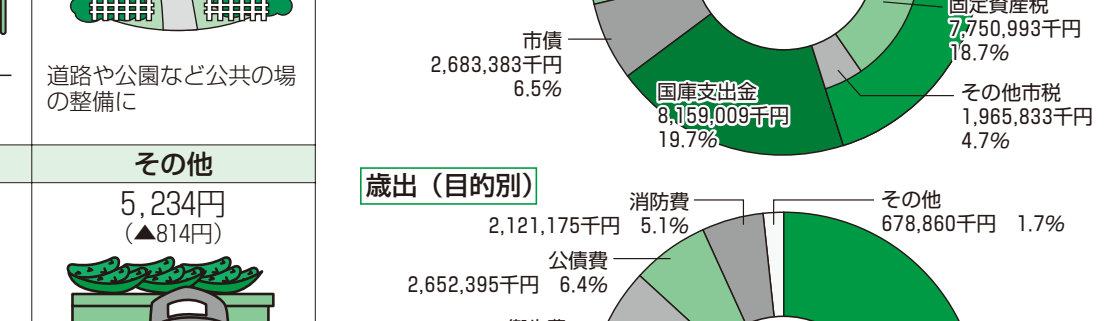
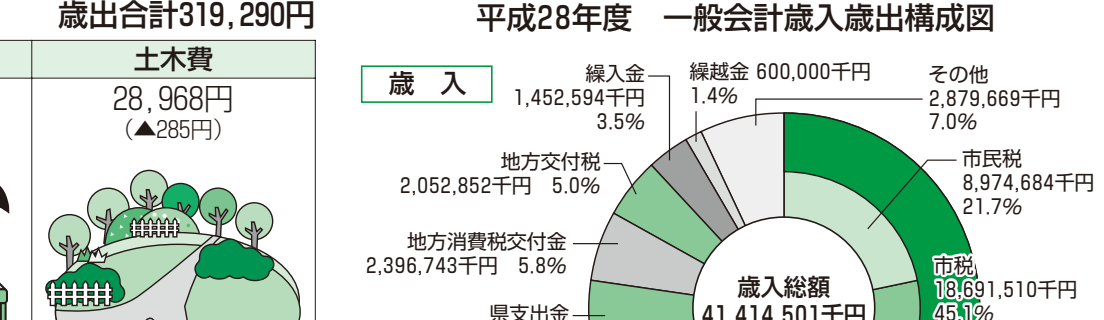
市の平成28年度当初予算が、3月の市議会定例会で可決されました。一般会計の予算額は、414億1450万1千円。前年度当初予算額に対して、5・2パーセントの増になりました。

一般会計の予算額と、三つの特別会計と二つの公営企業会計(※)の予算額を加えた市の予算総額は、747億4378万1千円。

歳入の根幹である市税収入は、前年度に対して3・5パーセント、6億2917万9千円増で、個人市民税は減収が見込まれるものの、市内企業の業績が好調なことから、法人市民税は増収となり、市税全体では前年度を上回る見込みです。しかし、本来地方の固有財源である地方交付税は、その全額の交付が実現せず、振替措置としての臨時財政対策債の発行により補わざるを得ない状況が継続しています。

また、平成27年度の歳入見込みを精査し、歳出予算の執行残額を的確に把握することで、補正予算で財政調整基金への積み立てを実施し、平成28年度当初予算の負担を軽減するなど、工夫を凝らしました。さらに、きめ細かく事業の見込みを精査し、適切に所要額を措置することで、補助金を活用するために次年度へ送るなどの事情があるものを除き、実施計画事業を全て網羅した予算を編成することができました。

障がい福祉の充実、保育所等保育環境の整備などに必要と見込まれる額を確実に措置することで、前年度に対して、11・7パーセント増と大幅の増になりました。近年、需要が増え続ける扶助費は、平成28年度予算の予算総額を膨らませる一つの要因となっています。



| 項目      | 金額(千円)     | 割合    |
|---------|------------|-------|
| 歳入      | 41,414,501 | 100%  |
| 歳入総額    | 41,414,501 | 100%  |
| 歳出(目的別) | 41,414,501 | 100%  |
| 民生費     | 10,939,984 | 46.8% |
| 総務費     | 5,556,137  | 13.4% |
| 教育費     | 3,988,529  | 9.6%  |
| 土木費     | 3,757,343  | 9.1%  |
| 衛生費     | 3,266,078  | 7.9%  |
| 公債費     | 2,652,395  | 6.4%  |
| 消防費     | 2,121,175  | 5.1%  |
| その他     | 678,860    | 1.7%  |

| 項目    | 内容  |
|-------|---|
| 人件費   | 市職員給与、市議会議員報酬などの経費                                |
| 物件費   | 臨時職員賃金、業務委託料などの経費                                 |
| 維持補修費 | 公共用施設などの効用を保全するための経費                              |
| 扶助費   | 生活保護、児童手当、医療扶助などに支出される経費                          |
| 補助費等  | 負担金、補助金、交付金などの経費                                  |
| その他   | 市の借金の元金と利子を支払うための公債費や一般会計と特別会計の間で相互に支出される繰出金などの経費 |
| 投資的経費 | 道路の整備や公共施設建設などのための経費                              |

※歳出(目的別)の用語については、「市民一人当たりの年間支出」を参照してください。

# 平成28年度当初予算総額は747億4378万1千円

一般会計予算額は、5・2パーセント増

前年度当初予算額に対して5・5パーセント、38億8118万5千円の増になりました。

※平成28年度より、公共下水道事業特別会計が、公営企業会計に移行するため、三つの特別会計と二つの公営企業会計となりました。

歳入の根幹である市税収入は、前年度に対して3・5パーセント、6億2917万9千円増で、個人市民税は減収が見込まれるものの、市内企業の業績が好調なことから、法人市民税は増収となり、市税全体では前年度を上回る見込みです。しかし、本来地方の固有財源である地方交付税は、その全額の交付が実現せず、振替措置としての臨時財政対策債の発行により補わざるを得ない状況が継続しています。

また、平成27年度の歳入見込みを精査し、歳出予算の執行残額を的確に把握することで、補正予算で財政調整基金への積み立てを実施し、平成28年度当初予算の負担を軽減するなど、工夫を凝らしました。さらに、きめ細かく事業の見込みを精査し、適切に所要額を措置することで、補助金を活用するために次年度へ送るなどの事情があるものを除き、実施計画事業を全て網羅した予算を編成することができました。

障がい福祉の充実、保育所等保育環境の整備などに必要と見込まれる額を確実に措置することで、前年度に対して、11・7パーセント増と大幅の増になりました。近年、需要が増え続ける扶助費は、平成28年度予算の予算総額を膨らませる一つの要因となっています。

平成28年度の予算編成

第四次座間市総合計画を着実に推進するため、施策を具現化した実施計画事業を最優先として、予算編成に取り組みました。